

第48回岐阜定期演奏会
大阪フィルハーモニー
交響楽団

OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

《ソプラノ》 森谷真理 《指揮》 広上淳一

サラマンカホール

30周年、
大いなる喜びへの賛歌が響きわたる

2025年3月15日(土)

17:30開演(16:50開場)

音楽評論家

奥田佳道氏によるプレトーク開催(17:10~) 演奏会の聴きどころを解説します!

プログラム ※曲目は変更になる場合があります。

シューベルト:交響曲第5番 変ロ長調 D485

マーラー:交響曲第4番 長調「大いなる喜びへの賛歌」

岐阜県内の小中高生対象の「公開リハーサル」、
小4~6年対象の「子どもアート体験」を実施します。
※詳細はチラシ裏面をご覧ください。

サラマンカホール

岐阜市藪田南5-14-53

主催:サラマンカホール

共催:公益社団法人大阪フィルハーモニー協会

芸術文化振興基金



全席指定 S席:6,000円 | A席:5,000円 [サラマンカメイト S席:5,400円 | A席:4,500円] 学生半額(30歳まで)

※未就学児の入場はご遠慮ください。※車椅子席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取り扱いです。

サラマンカメイト先行発売:2024年12月6日(金) | 一般発売:2024年12月13日(金) | 電話・インターネット9:00~/窓口12:00~

特別協賛



人と、地域と、未来をむすぶ

十六フィナンシャルグループ

十六フィナンシャルグループは、音楽などの文化・芸術活動を通じて、
次世代につながる快適で魅力ある街づくりを応援いたします。

チケットのお求め | サラマンカホール チケットセンター 9:00~21:30

058-277-1110

チケットぴあt.pia.jp

コード:278-211

チケットのネット予約は公式サイト

イープラスeplus.jp / ファミリーマート

「サラマンカ・オンラインチケット」で



サラマンカホール 検索





《指揮》
広上淳一 Junichi Hirokami

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第1回ネリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンサートヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィルのポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年に来日公演を実現、さらに米国ではコロンバス響音楽監督を務めヨーヨー・マ、五嶋みどりをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。2008年4月より京都市交響楽団常任指揮者を経て2014年4月より常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー、常任指揮者として13シーズン目の2020年4月より2022年3月まで京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問を務めた。2015年には同団とともにサントリー音楽賞を受賞。現在はオーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団 フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団 広上淳一。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。



《ソプラノ》
森谷真理 Mari Moriya

今最も注目を集めるソプラノの1人。武蔵野音楽大学、同大学院卒業後、ニューヨークのマネス音楽院修了。世界各地のコンクールにて優勝、受賞。欧米ではメトロポリタン歌劇場にて2006年に《魔笛》夜の女王で大成功を収めたのをはじめ、リンツ州立劇場の専属歌手を務め、ウィーン・フォルクスオーパーなど多数の歌劇場で活躍。国内では、兵庫県立芸術文化センター《夏の夜の夢》、日生劇場《ランメルモールのルチア》、二期会《蝶々夫人》《サロメ》《ルル》表題役、びわ湖ホールプロデュースオペラ《リゴレット》《魔笛》《ラインの黄金》《ワルキューレ》《神々の黄昏》《ローエングリン》《ニュルンベルクのマイスタージンガー》《ばらの騎士》、新国立劇場《カルメン》《ばらの騎士》《蝶々夫人》《ジュリオ・チェザレ》等で絶賛を博す。コンサートレパートリーもバロックから近現代曲と幅広く、近年ではブーランク《人間の声》が新聞各紙で高評され、ベルク『ヴォツェックより3つの断章』、R.シュトラウス『4つの最後の歌』でも絶賛された。2022年にはザクセン州立歌劇場で《蝶々夫人》を主演し、注目を集めた。2019年には「天皇陛下御即位を祝う国民祭典」にて国歌独唱を務めた。名古屋音楽大学准教授、東京藝術大学講師、洗足学園音楽大学講師。小山評定ふるさと大使。とちぎ未来大使。下総統一音楽賞受賞。
 公式ホームページ <https://marimoriya.com/>



大阪フィルハーモニー交響楽団
 Osaka Philharmonic Orchestra

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年に亘り朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務めた。大植英次音楽監督時代には「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、2014～2016シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「ショスタコヴィチ/交響曲第4番」「交響曲第7番」「交響曲第11番」の録音で高い評価を得た。2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2024年4月より、クラリネット奏者のダニエル・オッテンザマーがアーティスト・イン・レジデンスに就任。2017年度文化庁芸術祭・優秀賞受賞。2017・2018年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞を2年連続で受賞。 <https://www.osaka-phil.com>



《ブレットク》音楽評論家
奥田 佳道 Yoshimichi Okuda

東京生まれ。ヴァイオリンを学んだ後、ドイツ文学、西洋音楽史を専攻。ウィーン大学に留学。くらしき作陽大学講師、エリザベト音楽大学講師を務めた。NHK、日本テレビ、テレビ東京、WOWOWなどの音楽番組に出演。20年以上に渡ってウィーン・フィル ニューイヤーコンサート生中継の解説をNHK-FM、BS、Eテレのいずれかでやっていた。現在日曜朝のNHK「音楽の泉」に出演中。また「ラジオ深夜便(クラシックの遺伝子)」「(隔月)、FM「オペラ・ファンタスティカ」にも出演している。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ(音楽之友社)」、「1冊でわかるポケット教養シリーズ バイオリンを知る本」(YAMAHA)他。

子どもアート体験 募集

2025年3月15日(土)
 10:30(集合)～12:00(終了予定)

オーケストラの公演ができるまで

●対象:小学4年生～6年生
 ●募集人数:8名程度(先着順)

オーケストラ専門の職業を知っていますか? 普段見ることのできない場所や演奏会に向けての準備を間近で見聞きできる大変貴重な機会です!!

参加無料

※定員になり次第募集終了
 申込期間:2024年12月6日(金)～2025年1月24日(金)

公開リハーサルのご案内 2025年3月15日(土)
 14:00～16:00(開場13:20)

参加無料

岐阜県内の青少年を対象としたオーケストラのリハーサルを公開いたします。公演に向けて指揮者とオーケストラが音楽を作り上げる様子をご覧ください。

●対象:「岐阜県内」の小・中・高校に在学中の児童生徒とその保護者。
 ※応募多数の場合抽選

申込期間:2024年12月6日(金)～2025年1月24日(金)

申込方法:どちらも詳細はサランカホールHPおよび専用チラシにてご確認ください。➡「子どもアート体験」、「公開リハーサル」のお問い合わせ サランカホール Tel. 058-277-1113
 ※演奏会終了後、JR西岐阜駅までの無料マイクロバスを運行いたします。

大好きなこの街の未来をつくろう。

CMギャラリーはこちら

人と、地域と、未来をむすぶ

十六フィナンシャルグループ

十六銀行 十六リース 十六TT証券 十六カード 十六電算デジタルサービス 十六総合研究所 NOBUNAGAサクセション
 NOBUNAGAキャピタルピレツジ カンダまちおこし 十六ビジネスサービス 十六信用保証